

鹿児島国道、新庁舎落成式

新拠点で道路行政にまい進

「21世紀に開かれた明るい庁舎」を基本理念に、鹿児島市浜町に新しい新庁舎が完成した。国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所の新庁舎落成式が7日、現地で開催された。出席し開き、道路行政の情報発信の提供や防災機能の強化が図られた新庁舎の完成を祝った。

落成式に先立ち、渡邊茂樹同局長や奥村康博所長らがオオシマサクラを記念植樹。引き続き場所を移して行われた落成式では、奥村所長が「今後は、この



新しく完成した庁舎(上)と挨拶する奥村所長(下)鹿児島市の現地

12年より工事着手し、昨年12月に完成した。新庁舎は庁舎棟S・R・C造5階建延べ3807・25平方メートルと車庫棟R・C造平屋建て237

・76平方メートル、総事業費約18億円。誰でも使いやすい庁舎を目指して、ハートビル法の基準によりバリアフリー化され、地球環境問題への対応として屋上緑化やソーラーパネル・風力を利用した照明、親水性外壁タイル及び氷蓄熱空調調整システムなどを設置。また、1階フロアの一部には道路行

政及び事業に関しての情報発信を行う「みち案内プラザ」を開設し、災害時に避難施設としても機能する配慮がなされているほか、4階フロアは「防災センター」と位置付け、災害対策及び管理部門を集約し、防災無線・光ネットワーク整備により九州の防災拠点としての機能が充実している。



鹿児島国道事務所新庁舎落成式

生していないが、ちょっとしたことで事故が発生することから、パトを常時行うことは大切、「気をゆるめず安全管理の充実を」年度末で仕事がふくそうし多忙な時期のパトではありますが、改善すべき事項や見習うべき点などを点検し、今後の安全管理に生かしてもらいたい」と挨拶。

県ビルメン協会 ガラス清掃作業パト

高所作業の安全確保を



協会では労働安全対策の状況把握と安全作業の更なる確立を図るため、青年部等と合同で今回のパトを実施した。会員10人が3班に分かれ、同市内の吉野東小、

高所作業車での清掃作業を見守る診断員。鹿児島市の吉野東小学校で

東小では高所作業車を使って校舎4階部分の窓を清掃中で、診断員はバケット内での安全帯着用状況や乗り出し作業上の安全対策などを点検。また、教室の中からの清掃作業においては、廊下に設置した脚立の滑り止めと、児童への配慮等多角的にチェックしていた。

19日に入来町で実施

ファイヤードレンジャー防燃水公開実験

(株)マテリアル九州(郡山謙二社長、本社・川内市)は19日午前8時40分から、薩摩郡入来町の川内地区消防組合東部消防署の敷地内でファイヤードレンジャー防燃水は、建物の部材に噴霧することで火災

時の部材の燃焼率を大幅に低減することができると、引火点を著しく高めることで棟の全焼を防ぎ、全焼を回避することで避難時間を確保することができると利点を持つ。問い合わせは、(株)マテリアル九州(0996・25・5466)担当・郡山氏まで。

鹿児島市管工事協組パト

年度末の災害防止を



管路布設に伴う危険などを診断するパト一行＝鹿児島市の現場で

全パトロールを実施、年度末の繁忙期を迎え仕事がつくそうする現場の労働災害防止と更なる安全意識の高揚を訴えた。今回は、整備69工区配

水管布設工事(サンケイ建設)、改良60工区配水管布設工事(太陽設備)、整備68工区配水管

布設工事(理水工業)、整備82工区配水管布設工事(三工業)、中央3号配水管布設工事・その

岡村課長らが、「組合ではこれまで重大災害も発

全羅北道(韓国)、研修で来鹿

プラント等を視察

本県と友好関係にある全羅北道訪問団(韓国)の一行が4日から5日間の日程で、福岡県、熊本県、鹿児島県を訪れ、視察研修を実施した。本県には7日、アスコン関連事業に関する視察研修の一環として、本県におけるアスコン事業の現況等を工事現場を含め視察を実施するため、来



興味を示し、詳細な質問が飛び交い、対応に合わせた説明が行われた。柳詰部長は「今回の交流を通して、更に友好関係を深めながら、お互い技術の向上に生かしていければ」と話した。

興味深く説明を聞く全羅北道一行。鹿児島市の現場で

28日まで意見募集

鹿児島振興計画等 県は、離島地域の今後10年(平成15年度～24年度)の振興の方向性を示す「鹿児島振興計画」概要(案)及び「奄美群島振興開発総合調査報告書(原案)」について、28日まで県民から意見募集(Eメール、封書、はがき、FAX)を行っている。問い合わせは、県企画部離島振興課(099・286・2443、FAX:286・5531)メール:kaishin@pref.kagoshima.jp